

様式 4

<p style="text-align: center;">第 3 回 富士見市新庁舎建設基本・実施設計業務 受託候補者審査委員会 議事録</p>					
日 時	令和 6 年 11 月 10 日（日）		開会	午前 9 時 15 分	
			閉会	午後 4 時 40 分	
場 所	鶴瀬コミュニティセンター ホール及び第 3 集会室				
出 席 者	委 員	大月委員	村上委員	山口委員	山田委員
		○	○	○	○
		浅井委員	水口委員	古屋委員	
		○	○	○	
	事 務 局	新庁舎整備室 平澤室長、奥野副室長、鈴木主任、舎川主任、白崎主任 営繕課 坂田主査、寺沢主任 公共施設マネジメント課 西澤主任			
公 開 ・ 非 公 開	一部公開（プレゼンテーション・ヒアリングのみ公開）				
議 題	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議 事 （1）ヒアリング事項について （2）二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング） （3）二次審査（受託候補者及び次点候補者の選定） （4）答申案について （5）その他 4 事務連絡 5 閉 会				

議 事 概 要

1 開 会

事務局が、開会の宣言、資料確認、委員の出席状況（7名出席）、会議成立の報告、本日のスケジュール説明を行った。

2 委員長あいさつ

第3回審査委員会の開催に当たり、委員長があいさつを行った。

3 議 事

（1）ヒアリング事項について

プレゼンテーション・ヒアリングにおけるヒアリングの進め方等について協議を行い、以下のとおり決定した。

- ・ヒアリングの時間は25分程度となっているが、審査のために必要なものという位置付けのため、25分が経過しても、審査・評価のために必要な質問は行う。
- ・ヒアリング時間の最後5分は、これまでの質疑応答の内容を踏まえつつ、委員長が質問を行う。
- ・プレゼンテーションは、残り5分でベルを1回、残り1分でベルを2回鳴らし、20分経過したタイミングでプレゼンテーションを打ち切る。ヒアリングは、残り5分と1分のタイミングで司会からアナウンスを入れることにより時間管理を行う。

（2）二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）

【ロ社】

-----ロ社のプレゼンテーション・ヒアリングを実施-----

<以下、ヒアリング時の質疑応答（要約）>

委 員

将来的に市役所の使い方が変わるようなフェーズでは、空間的・動線的に切ることができるなど、変化に対応できる工夫が必要と考えるが、どのような考え方を持っているか。

ロ社

なるべくシンプルかつフラットに作ることを重要と考える。今後時代の変化によって、市役所の役割が行政サービスから市民相談・協働へ変化していくと考えるため、必要な面積スペースのバランスの変更にも対応できるよう計画しており、平面的にも執務エリアと来庁者のエリアを明確に区別するよりも基本的にフラットに考えることを検討している。設備的な対応としては、インフラループを外周部に廻すことで、ゾーニングが変わっても対応可能にしている。

委員	<p>提案の中で、どこが最もアピールをしたいと感じているところか。 そのアピールしたい点を実現する上でのハードルとなるもの、弊害と考えられるものはあるか。あるならば、それをどう克服しようと考えているか。</p>
ロ社	<p>今回の提案では、まず予想される水害による被害にどう対応するかではないかと考え、柱頭免震とした。 1階の使い方、そして窓口が2階に上がることに対する利便性の問題は議論の必要があると考えている。今回の提案の考え方としては、簡易な証明書発行は1階で完結し、それ以上の必要があるものに関しては2階以上に上がって手続きをする形にすることで、利便性の問題を解消するというものである。</p>
委員	<p>空調方式について確認したい。インフラープは、執務空間の中心部分にも効いてくるものなのか。</p>
ロ社	<p>外周部のループ状の空間からの床吹き出し空調をメインとして考えており、二重床空間をチャンバー空間として捉えることで、中心部分にも空調を効かせることができるものと考えている。</p>
委員	<p>庁舎内が大空間であることから、周囲から自然光は入りにくい環境であるのではないかと。そのような、室内環境に対する考え方は。</p>
ロ社	<p>今後の相談とはなるが、4階部分のトップライト等、上部からシンプルに光を取り入れることができる仕組みについて検討していきたい。</p>
委員	<p>設計段階で ZEB Ready を達成し、その後運用によって Nearly ZEB を達成可能とのことだが、企画提案書の図によると一次エネルギー消費量に違いが出ているというのはどういった理由によるものか。</p>
ロ社	<p>ZEB Ready を提案しているのは、あくまで設計時の省エネ適合判定時の数値である。 運用を開始してから1年後や2年後にエネルギー消費量を計量した上でソフト面での対応等によって、実運用としては Nearly ZEB 相当の運用が可能であるものと考えている。</p>
委員	<p>4階を災害対応拠点として考えているが、上層階に災害対応エリアを配置した意図を確認したい。</p>

ロ社	<p>庁舎は災害時に機能転換できることが重要と考える。</p> <p>4階部分は災害対策において、市民に公開しない職員による指令拠点のような扱いとすることを考えている。フェーズフリーな1階やシビックコモンズについては、市民に開かれたもう一つの災害拠点として活用し、2拠点的に対応できるようにしたい。</p>
委員	<p>柱頭免震構造であることから、縦方向の動線の処理に関する配慮について、補足説明をお願いしたい。</p>
ロ社	<p>柱頭免震の庁舎に関する実績はあり、今回の場合も問題ないものと考えている。今回の提案は1層の柱頭免震である。階段は問題なく設置可能であり、エレベーターに関しては上層階から吊り下げるような形になるが、コスト・使い勝手を含め、さほど問題なく対応可能と考えている。</p>
委員	<p>災害時の動線を考慮すると縦方向の移動が多くなるように思われるが、考え方を教えてほしい。</p>
ロ社	<p>フラットなつくりになればなるほど、今度は横方向の動線の問題も出てくるものと考えている。双方のバランスを考慮し、今回は4層構成の提案とした。</p>
委員	<p>トータルコストの考え方はどうか。今回の提案は、概算として示した費用の中に全て収まっていると考えてよいか。収めるために、設計担当と積算担当がどのように連携していくのか、考え方を教えてほしい。</p>
ロ社	<p>現在の情勢は非常に読みづらく、今後建設物価がどのように推移していくのかも不明瞭であることから、どのようにコストコントロールを行うかが重要であると考えている。費用の目標値を定め、詳細を固めていく中で随時モニタリングを行い、それに対応していくという考えを持っている。</p> <p>現状のコストにおいては概算費用を算出し、今回提示された金額以内の提案となっていることは確認している。ただし、3年後のことについては言えない。</p>
委員	<p>1階のピロティ部分を3つの島に分け、これらの間は外部空間になっているが、このような提案とした理由を聞きたい。</p>

ロ社	<p>1階はフェーズフリーへの対応や、バックアップ機能として活用したいと考えている。</p> <p>今回の計画においては、文化の杜公園に対して、庁舎をどのように親和性を持って作るかが課題だと受け止めている。そのため公園から市役所を通り抜けられるようなつくりをポイントとして訴えたかったところである。また、内部空間が大きくなるとコストに影響することもあり、まずはこのような提案をさせていただいた。</p>
委員	<p>柱が三角のグリッド上に落ちるということだが、グリッドが四角の場合と三角の場合のメリット・デメリットがあれば教えてほしい。</p>
ロ社	<p>三角グリッドにすることで、窓口が見やすくなり、全体のワークスペースのフラット化につながり、市民との交流を誘発するような今後の環境にとってはふさわしいと考えている。</p>
委員	<p>2階の床スラブに大きな吹抜けがあるが、本来であれば吹抜けに柱が建つことになると思われる。どのような考え方か。</p>
ロ社	<p>現時点で詳細な検討は行っていないが、ご指摘のとおり柱を落とすことになると思われる。基本的には、外周部には大きく強固な柱、内側には鉛直荷重だけを背負う比較的簡易な柱を設ける想定となっているので、このような考えの中で対応することとなる。</p>
委員	<p>ライフサイクルコストの削減において、建設・建替えコストの割合が高いように見えるが、どのような考え方か。</p>
ロ社	<p>100年保つ庁舎を想定しているので、躯体はそのまま使い続けることを想定している。従来モデルは一度建替えることを前提としているため、大きくコスト差が出ている。建物を長く保たせた分だけトータルコストも下がるという考え方である。</p>
委員	<p>執務空間の可変性を高めるためには、様々な家具を収納できるような倉庫も必要になるという認識だが、現在の計画で倉庫は足りるか。</p>
ロ社	<p>ワークプレイスに配置するキャビネットは低いものだけにするなど、ワークプレイスには本当に必要なものだけを配置するという考えであり、実績を踏まえると、これくらいの倉庫で足りると考えている。</p>
委員	<p>フリーアドレスの執務席となることも想定しているのか。</p>

ロ社	想定している。外周にマルチサポートシェルフと呼んでいるキャビネットを設置しており、この中に業務上で必要な資料を収納する想定である。
委員	WEB会議に対応可能な空間を設ける想定はあるか。
ロ社	個別に家具のようなもので対応することになると考えている。
	【ハ社】 -----ハ社のプレゼンテーション・ヒアリングを実施-----
委員	<p><以下、ヒアリング時の質疑応答（要約）></p> <p>外観イメージは非常に魅力的だが、これをどのように利用していくのか。テラス等を誰が・なぜ・いつ・どのように利用するイメージなのかもう少し詳細に聞かせていただきたい。</p>
ハ社	休みの日においては市役所前の大型商業施設のフードコート等も混雑しているので、テイクアウトしたものをテラス等に持ち込み、その後、また戻って買い物をすることもできると考える。ひだまり交流ひろばは休みの日や閉庁時にも通り抜けができるよう、通過動線として使うことができ、多目的スペース等も開放する形で使われるイメージである。テラスの詳細な利用用途については市民ワークショップの中で検討するほか、市民ワークショップに参加してくれた市民とやり取りを継続し、工事中には具体的な使い方について検討を行っていきたい。
委員	人口縮減が予想される中、庁舎を別の用途に転用できるイメージについての説明があったが、部屋の大きさや面積の配分の変更、空調や動線を分離する必要もあると考えるが、これらの考え方について補足で説明をいただきたい。
ハ社	L字型の庁舎を提案した理由に交流棟の切り離しがしやすいことがある。空調はグリッド上でモジュール化することで壁の位置が変わっても対応できるようにしたり、照明はリモコンスイッチ等にするなどで配線工事を少なくしたり、配管スペースは余剰部分を確保しておく等で対応していきたい。
委員	協働サロンを提案いただいているが、プライバシーへの配慮や職員のセキュリティ対策も必要になると思うが、バックヤード等の部分が見えないが、どのような配慮が考えられるか。

ハ社	<p>D X化が進む中で、職員が市民ゾーンに出ていくことになっても、プライバシーを確保するための仕組みが完全になくなることはないと考えており、平面の左側部分はプライバシーを守る必要のあるエリアであると考えている。協働サロンの広さ等がどの程度必要なのかについては、職員ワークショップの中で検討していきたい。</p>
委員	<p>光環境や音環境、空調方式についての考え方を聞きたい。</p>
ハ社	<p>腰壁を作ったり、窓の必要のないところには壁を作ったり、西日の入る場所については、ルーバーによって直射日光の入らないようにすることを考えている。空調については人がいる場所（居住域）を中心とした放射空調を想定している。今回 ZEB の提案しており、基本設計の段階から建築・設備と調整しながら開口部の大きさや断熱性能について調整していく予定である。</p>
委員	<p>新庁舎建設基本計画において、蓄電池の設置について記載があると思うが、今回の提案には含まれていないように見えるが、どのように考えているか。</p>
ハ社	<p>B C Pの視点から、蓄電池ではなく非常用発電設備での電源供給をすべきと考えている。しかし、燃料が枯れた際には、太陽光発電が重要になってくる。蓄電池の大きさとしては最大でも 30kW になると考えている。</p>
委員	<p>大きくテラスを設けているが、維持管理の方向性について教えてほしい。</p>
ハ社	<p>植栽についてはメンテナンスの少ない樹種を選定する。維持管理の方法としては、一部だけでも“みんなの花壇”のように市民と協力し、テラスの植栽の手入れを行うことができれば望ましいと考えている。なお、テラスの植栽帯は景観的な意味合いも強いが、落下防止のための安全性確保という側面もある。植栽帯の手前に手すりを設けることで、子どもたちの落下を防ぐことができると考えている。</p>
委員	<p>テラスの維持管理の仕組みづくりについては、新庁舎の運用が始まってから市側に任せるということになるのか。</p>
ハ社	<p>設計中に市民ワークショップにおいて、市・設計者・市民とのパイプ作りを行う。施工中にテラスの使い方や植栽の管理について継続的に考え、運用開始後にはすぐに対応できるようにしたい。</p>

委員	基礎免震を選択した理由について説明いただきたい。
ハ社	庁舎機能以外のものが1階にあるような場合は、柱頭免震を選択することもあるかもしれないが、今回の計画には馴染まないと考えて基礎免震を採用した。
委員	免震に関する浸水対策の考え方を説明いただきたい。
ハ社	浸水対策としては、免震積層ゴムより優れた素材と聞いている球面すべり支承を採用している。なお、免震エキスパンションにはどのような形であれ水が入ってしまうと考える。
委員	外構において、かさ上げを行っている部分の動線処理はどのように行う考えか。
ハ社	1mかさ上げしているが、段差はない。アプローチも長いのでバリアフリー対応の勾配にすることができることを確認している。
委員	災害時の周辺施設との関係性や連携の方法、また災害時の車両動線についてどのように考えているか。
ハ社	広域的に見ると3施設（中央図書館、庁舎、市民総合体育館）の駐車場が分断されるような形になっているが、災害時においてはひだまり交流ひろばをとお互いの駐車場を行き来するようなことも想定している。
委員	平時にも荷捌きなどがあると思うが、車両動線はどのように考えているか。
ハ社	ケヤキひろばに大きなキャノピーを作り、バス乗り場等を設ける計画である。そこからエントランスにアクセスする形になっているため、物資等をキャノピーで降ろすことで、雨に濡れることなくやり取りができるものと考えている。
委員	コスト管理の観点において、6%の物価上昇を織り込んで提案をいただいたとのことだが、この範囲内の物価上昇であれば提示された金額内で事業を完了することができるという理解をしてよいか。
ハ社	そのようにコスト試算をしている。

委員	テラスについては、安全管理のために植栽帯が必要であるとのことだが、この場合、将来的に植栽帯の維持管理が市の負担になることは明白であろうと推察する。維持管理の考え方について補足説明をいただきたい。
ハ社	テラスは建物の屋上という位置づけであり、植栽のメンテナンスと床の清掃が必要である。また、維持管理については庁舎管理の範疇であると考えている。
委員	テラスの大きさはどれくらいか。また、そのうち植栽はどれくらいか。
ハ社	テラスの大きさは2,800㎡程度であるが、テラスの植栽帯の大きさについては具体的な試算を行っていない。
委員	示された敷地図を見ると、市が提示した敷地境界から南側に若干はみ出しているように見受けられるが、はみ出している場合は、その意図を確認させていただきたい。また、今後調整することは可能なのか。
ハ社	敷地境界については、示された範囲内で計画している。測量図を確認し、現地でも確認の上、問題ないものと認識している。
委員	ひだまり交流ひろばを建具で開け閉めするとのことだったが、具体的にどのような建具による区画を想定しているか。
ハ社	キラリ☆ふじみにも使われている、電動で開け閉めが可能な二層のステンレス製建具を想定している。分かりやすくするため、資料上は二層吹き抜けの建具というような形にしているが、市との調整内容によって1階のみを開け閉め可能とするような調整を行うこともできるという認識である。
委員	南西側の外観がどのような形をしているか資料では読めなかったが、どのような立ち姿をしているか。西日を強く受けるようにも見受けられるが、対策としてはどのようなものが考えられるか。
ハ社	基本的にはロータリー側から見たパースのような想定である。西日の対策としてはルーバーの設置等を行う想定である。
委員	テラスの床仕上げについて、想定しているものはあるか。
ハ社	内部からフラットにアクセスできるよう、再生木のデッキやセラミック系のタイルを敷くことを想定している。

委員	外部仕上げを将来的に入れ替えることは必要になるのか。
ハ社	セラミックタイルの設置について実績があり、床仕上げに関するメンテナンスは不要と認識している。
委員	災害時にテラスにテントを張るようなことも可能であると考えながら聞いていたが、例えばテラスにテントのペグを打つようなことは可能なのか。
ハ社	可能であると考えている。周辺施設には半屋外空間が少ないと考えており、新庁舎のテラスは災害時にも、炊き出し空間や応援職員の休憩空間として有効に機能すると考えている。そのため、一部タイル張らないでおくなど、テントのペグを打つことができる仕掛けを作るとは非常に有効になると考えられる。
委員	テラスに机や椅子が設置されているが、これはどこへ収納する想定なのか。
ハ社	テラス側にワークラウンジを設置しており、この裏部分に収納するようなことを考えている。またテラスの家具にステンレスのワイヤーを設置し、固定することで収納することなく使用できるという事例が存在する。具体的な方法については市と調整していきたい。
委員	テラスに長い階段が設置されているが、この階段は自力で保つ形式か。裏側に柱が建つことは可能性としてあるのか。
ハ社	一方向で保たせ、裏側への柱は不要である想定である。
委員	浸水被害があった場合、1階部分の被害は避けられないものと見受けられるが、どのような対応を想定しているか。
ハ社	まず地盤から1mかさ上げすることで内水の氾濫に備えている。5mの浸水の場合、1階部分は浸水してしまうことになるが、機械室や倉庫は上層階とし、1階の電気系統も2階以上と分けたいと考えている。1階と2階以上で電気系統を2系統に分けることで、全て使えなくなってしまうことは防ぎたい。

	<p>【二社】</p> <p>-----二社のプレゼンテーション・ヒアリングを実施-----</p>
委員	<p><以下、ヒアリング時の質疑応答（要約）></p> <p>皆さんのニーズを丁寧に拾い上げていくという説明や変化に対応するという説明があった。一方で、ニーズの創出や育成という考え方、変化を起こしていくという考え方も必要と考える。こうしたものを建築の設計プロセスや建物を介して、どのように提案いただけるか。</p>
二社	<p>ワークショップなどを通して意見を聞いていくことが重要だと考えており、その中で富士見市としての将来的な共通の目標を見出していく、作り上げていくことが重要と考えている。市の基本構想で示されている将来的な目標について考え、いろいろな議論を通して作り上げていきたいと考えている。</p>
委員	<p>非常にシンプルな骨格でコンセプトどおりの提案をいただいた。長い期間、建物を使用するとなれば、用途転用を行うことも想定できるが、その場合、建物自体の価値が重要になってくると思う。建物自体の魅力について補足説明をお願いしたい。</p>
二社	<p>9 mグリッドによる均質なプランを提案している。均質なスパンであるからこそ可変性に対応できると考えており、社会情勢の変化に対応できる骨格については試行錯誤しながら作り上げていきたい。</p>
委員	<p>空間のダブつきがないというのは良いと思う一方で、少し時間をつぶしたり、小さな打合せを同時多発的に行ったりするような空間が見えにくいという印象を抱いた。このような余裕空間や多目的に使える空間がどのような場所にあるか教えてほしい。</p>
二社	<p>これまでの面積縮減の経緯も認識しているので、限られた面積の中で、できるだけ広い執務空間を確保しようという考えであり、空間のダブつきはあまりないというのが正直なところである。</p> <p>ただし、フロアの中央部分に打合せコーナーやオープンスペースを設けており、その他にも公園に面して交流ゾーンを設けていて、様々な市民活動にも利用できると考えており、そういうところを工夫していきたい。</p>
委員	<p>空間としてはある程度区画されたものかと思うが、全体の空調方式はどのようなものを考えているか。また、自然通風を取り入れるとのことだが、窓を開けることによる換気や温度差感知による換気など、どのような運用を想定しているか。</p>

<p>ニ社</p>	<p>空調方式は、災害時のリスク分散の観点から、個別方式をベースに電気とガスを組み合わせたものを計画している。自然通風については、設計中に気流のシミュレーションを行い、検証することを考えており、具体的な換気の方法については、運用のしやすさや効率性などを踏まえて市と検討していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>市民が集まってくるような、にぎわいの場は、どのような場所になるのか。</p>
<p>ニ社</p>	<p>1階の公園と水路に面した場所を多目的スペースや売店などで構成される交流ゾーンとしており、半屋外的な空間で公園と連続した空間として考えている。今回の計画では市役所単体でにぎわいを創出するというよりも、周辺施設とどのように連携して活性化していくことが、シビックコア、ひいてはまちづくりとして大変重要であると考えている。交流ゾーンの使い方は様々な想定があるが、皆さんと一緒に協議していきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>中間層免震を採用していると思うが、エレベーター等の縦動線に対する配慮の考え方を教えてほしい。</p>
<p>ニ社</p>	<p>中間層免震にしており、免震構造の方から吊り下げる想定である。1階はクリアランスを取り、シャフトは若干大きめになると考えている。エレベーターの水害対策も様々あるので、費用対効果を考えながら市と相談して決めていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>水害などを考慮し、電気室等を4階に設置しているが、メンテナンスについてはどのように考えているか。</p>
<p>ニ社</p>	<p>1か月に一度の定期点検が必要となるが動線については職員側のコアからアクセスできるようになっている。将来的な更新については、デッキを設けるなどが考えられるが、そうした更新計画については基本設計時で考えていく予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>少しかさ上げをしていて周辺とのレベル差があると思うが、外構の考え方について補足説明をお願いしたい。</p>
<p>ニ社</p>	<p>50cm 地盤面から上げている。水害も 1,000 年単位や 200 年単位など、様々なものが想定されるので、ちょっとした浸水被害であれば耐えられるようにという考えである。周辺とのレベル差については、スロープといえないような勾配でカバーできる想定であり、気にならないぐらいの勾配で処理していきたい。</p>

委員	建築費についてはプロポーザルで示している費用の中で収まるという考えでよいか。また、提案の計画については、どのくらいの費用を見込んでいるか。
ニ社	現時点の建設市場からすると、㎡当たり 75 万円程度の費用でできると考えている。
委員	全体の景観的な配慮はどう考えているのか。周辺と親和性のある建物を作ることについてどのように考えているか。
ニ社	公園に面した顔づくりも重要と考えており、庁舎をシンボリックに作ることも議論をしたが、富士見市のシンボルというのは市民活動であると捉えている。そのため、庁舎は周辺と一体となって市民活動を進めていく、引き立てるような役割を担うべきものであると考えている。また、ルーバーといった環境的な装置については外観に活かすような現代的な設えでデザインしていくことを考えている。
委員	外壁の壁柱はルーバーも兼ねているということか。また、これは RC であり、免震層で切れるという理解でよいか。
ニ社	ルーバーも兼ねているが、主風向の北北西に向けており、ウインドキャッチャーとして自然の通風をよりよく取り入れるためということが大きいと考えている。RC であり、柱の役割をしている。免震層から上を壁柱で支える形である。
委員	平面プランを見ると、壁柱が執務室などに入り込んでいるが、日によっては太陽光をたくさん受けてしまい、ヒートブリッジ化して室内が熱くなる又は熱が逃げていくことも考えられるのではないか。
ニ社	我々としてもそのことについては懸念しており、執務室としては若干使いにくいのではないかと考えるので、そうした外部側のディテールについては今後詰めていきたいと考えている。
委員	1 階の公園側に売店や多目的スペースが細長く配置されているが、これは室内と室外どちらの計画か。また、多目的スペースと執務スペースの間の細長い通路のようなものは、どのようなイメージか。
ニ社	売店や多目的スペースは屋内であり、多目的スペースと執務室の間は外部空間である。ピロティの中に多目的スペース等が配置されている形である。

委員	多目的スペースや売店の幅はどれくらいになるか。
ニ社	4 m程度である。
委員	そうすると、用途が限られてくるように思うが、どのような利用を想定しているか。
ニ社	具体的な使い方については今後協議したいと考えているが、多目的スペースの前に遊具広場の設置を想定しているので、例えばキッズスペースなど、屋内外と一体的に使うような利用を想定している。
委員	公園や多目的スペース利用者は、1階のトイレも利用できるという理解でよいか。
ニ社	そのとおりである。
委員	多目的スペースの左側に執務スペースが配置されているが、執務スペースの明かり環境は大丈夫か。
ニ社	奥行き感については課題になると考えている。多目的スペースの屋根の高さを抑えることで、光を奥に導けるように考えていきたい。
委員	屋上は左側がデッキ、右側は太陽光パネルとのことだが、この2つの中間はどのように考えているか。
ニ社	右側は少し立ち上がっており、直下の議場のところには高窓を設けて議場が見えるような設えにすると良いのではないかと考えている。機械室についてはガラリや壁など、窓ではない想定である。
委員	屋上の仕上げの材料はどのようなイメージか。大きな木があるように見えるが可能なのか。
ニ社	中木程度のイメージであり、あまり高い木は使わないように考えている。芝は自然芝で広々と使えることを想定しているが、ホバリングスペースの検討も提案しており、そうなれば人工芝にもできるように考えている。デッキについてはウッドデッキの想定である。
	<p>(3) 二次審査（受託候補者及び次点候補者の選定）</p> <p>受託候補者及び次点候補者の選定について、委員長が事務局に説明を求めた。</p>

	<p>事務局から、資料2に基づき、受託候補者選定までの流れについて説明を行った。</p> <p>-----評価点数表への記入-----</p> <p>-----評価点数表に基づき集計-----</p> <p>集計結果について、委員長が事務局に説明を求めた。</p> <p>事務局が各提案者の評価点数について説明した。</p> <p>委員長 評価点の順位と内訳について説明があった。 この内容で問題なければ、この評価点で決定したいと思うが、質問・意見等はあるか。</p> <p>-----なし-----</p> <p>委員長 特に意見等もないようなので、集計結果に基づき、受託候補者がロ社、次点候補者がハ社ということで決定する。 続いて各委員による講評に移る。審査結果を踏まえ、各委員から寸評をもらうという流れになっているが、事務局としてどのようなものを想定しているか。</p> <p>事務局 結果を受けての総括的なコメントをいただければと思う。 全体の意見や結果を受けて、客観的な視点からコメントをいただきたい。</p> <p>委員 最も安心して今回の業務を任せられるところが一番になって良かったと思っている。 防災の関連でも各提案者から様々な工夫があったが、実現性やコストの面を含めて、一番安心して任せられるところがロ社だったので、妥当な結果であると感じている。</p> <p>委員 100年持たせる庁舎を作るということで考えていくと、温暖化の問題など、1年ごとに様々な変化が起きているので、災害対応についても今まで以上の対応が必要になると思う。そうした中で、そのあたりもきちっと考えているロ社の提案は評価に値すると感じている。 また、今後設計者側からいろんな提案もありそうだなというところで、話し合いをしながら進めていって、市民が集まってくるような庁舎の実現を感じさせる提案だったと思っている。</p>
--	---

委員	<p>プロポーザルの途中で2者が評価の対象から外れてしまった点は勿体なかったと思うが、残った3者からそれぞれ特徴のある提案をいただくことができ、良い選定になったと思う。提案内容とそれを説得力のある形で上手くまとめているところも含め、総合力で評価されていると思うので、納得の結果と感ずる。</p>
委員	<p>審査結果については、やはりコスト面や実現性、このあたりがポイントになった結果なのかなと認識している。</p>
委員	<p>このような結果となり、ロ社の提案内容が総合的に優れていたのかなと考える。</p>
委員	<p>審査結果については、非常に納得感のある結果になったと思っている。3者から提案があり、類似の提案はなく、非常に尖ったような内容があったり、極めてシンプルで標準的な内容があったりと、三者三様の提案を見ることができて良かった。その中で、バランスのとれた総合力で優れたロ社が、それぞれの評価を得て、受託候補者に選定されたと理解している。</p>
委員長	<p>柱頭免震と基礎免震、中間層免震という構造コンセプトが異なる3者が、どのように同じ課題を解くのかと思ったが、バリエーションのあるプランが出てきたなという印象である。実際の設計というのは、提案的な部分を出しながらも、それをしっかりと諸条件の中で、実現していくというリアリティを持っていなければならない。</p> <p>ハ社は、大変伸びやかな良いプランを提示していて、非常に可能性のあるものであったが、コストやメンテナンスなどの将来的な不安があり、残念ながら受託候補者には至らなかったと思っている。</p> <p>ニ社については、非常にコンパクトかつリーズナブルな印象で現実的な提案であったが、例えば平面を見ると、非常に細く長い廊下が続くような感じで、建築設計の提案を積極的に行うところからは少し遠かったような気がする。</p> <p>ロ社については、デザイン面、コスト管理、様々な技術、安全性ということ考えたときに、今回のプロポーザルに最もふさわしい提案であったと感じている。しかしながら、このまま建つというわけにはいかないと考えており、各階の動線の処理がややタイトな形になるので、もっと多くの方が上下階を移動できる動線計画の提案が今後望まれるところである。それから、柱頭免震で吹抜けの間の柱をどうするかという点についても、技術的に改良の余地があると思う。</p> <p>また、1階のピロティにしている部分については、実際に庁舎を使う方々、仕事場とする方々の意見を汲み上げながら、より良いものにブラッシュアップしていくべきだと考える。</p>

	<p>市については、こうしたことも踏まえながら、今後、受託候補者と交渉を進めてもらえたらと思う。</p> <p>委員長 それでは、最後に受託候補者を含む各提案者の事業者名を事務局から報告いただきたいと思います。これまで実施してきた一次審査・二次審査は、事業者名を伏せて行ってきたが、審査で使用した名称と正式な事業者名の突合せを行いたいと思う。</p> <p>-----各委員にプロポーザル参加者一覧を配布-----</p> <p>(4) 答申案について</p> <p>事務局が、審査結果に基づき作成した答申案を委員に配布した上で、答申案の内容について説明した。</p> <p>委員長 <以下、主な質疑・意見等（要約）> 説明のあった答申案について、意見・質問等はあるか。</p> <p>-----なし-----</p> <p>委員長 それでは、答申書の内容は案のとおり決定する。</p> <p>(5) その他</p> <p>事務局 審査の過程で2者が失格になったことを踏まえ、市ホームページで公表する審査結果の範囲について審議し、受託候補者・次点候補者の名前のみを公表することに決定した。</p> <p>4 事務連絡 委員会閉会后すぐに答申を行うため、委員においては着席のままお待ちいただきたい。</p> <p>5 閉会 事務局が閉会を宣言した。</p>
--	---

署名： 委員長